

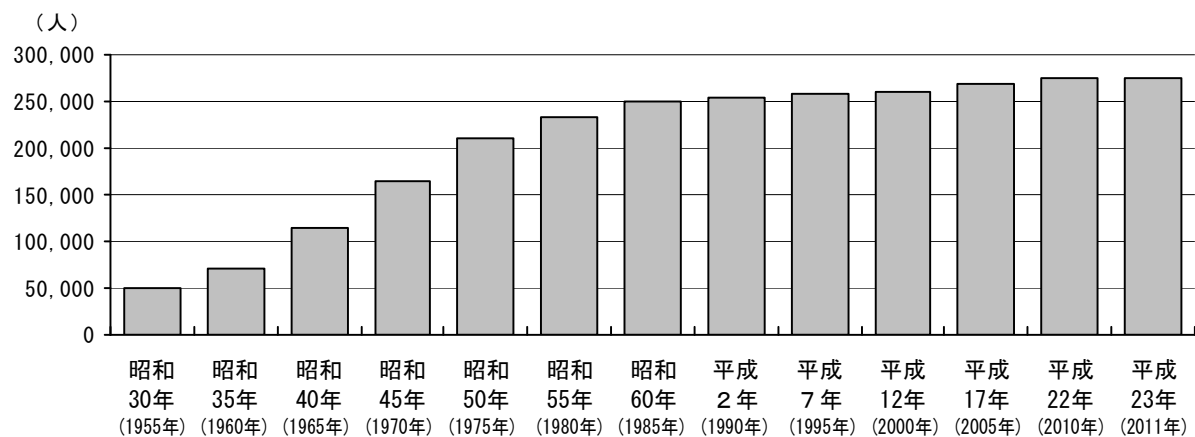
第2章 本市の高齢者等の現状と将来の状況

1 人口構造

(1) 人口の推移

人口は、昭和30年（1955年）から、急増しましたが、昭和60年（1985年）以降は、微増で推移しています。

【人口の推移】



項目	昭和30年 (1955年)	昭和35年 (1960年)	昭和40年 (1965年)	昭和45年 (1970年)	昭和50年 (1975年)	昭和55年 (1980年)	昭和60年 (1985年)
人口	51,014人	71,859人	115,136人	163,903人	210,286人	234,062人	250,463人

項目	平成2年 (1990年)	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成23年 (2011年)
人口	254,078人	258,233人	260,648人	267,961人	274,822人	275,558人

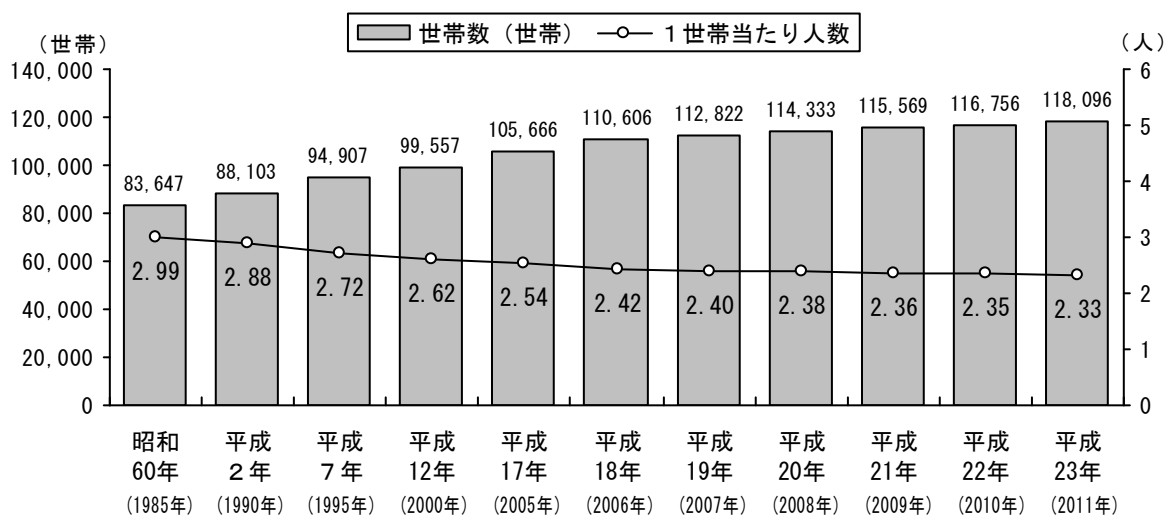
資料：昭和30～平成22年：国勢調査（各年10月1日現在）
平成23年：住民基本台帳及び外国人登録（9月30日現在）

(2) 世帯数の推移

世帯数は、年々増加し、平成23年（2011年）9月30日現在、118,096世帯と
なっています。

しかし、1世帯当たり世帯人員は年々減少し、昭和60年（1985年）の2.99
人から、平成23年（2011年）は2.33人と、家族の小規模化が進んでいます。

【世帯数の推移】



資料：昭和60～平成17年：国勢調査（各年10月1日現在）
平成18～23年：住民基本台帳及び外国人登録（9月30日現在）

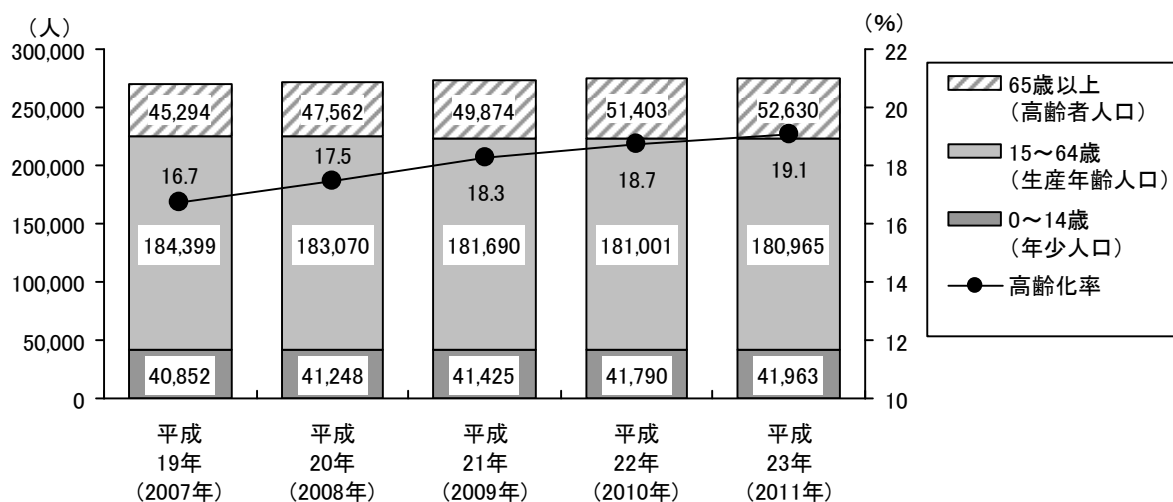
(3) 高齢化の状況

①年齢3区分人口の推移

人口の推移を年齢3区分別にみると、15～64歳（生産年齢人口）の割合は年々減少し、平成23年（2011年）は、平成19年（2007年）に比べ、2.5ポイント減となっています。

一方、65歳以上（高齢者人口）の割合は年々増加し、平成23年（2011年）は、平成19年（2007年）に比べ、2.4ポイント増となっています。

【年齢3区分別人口と高齢化率の推移】



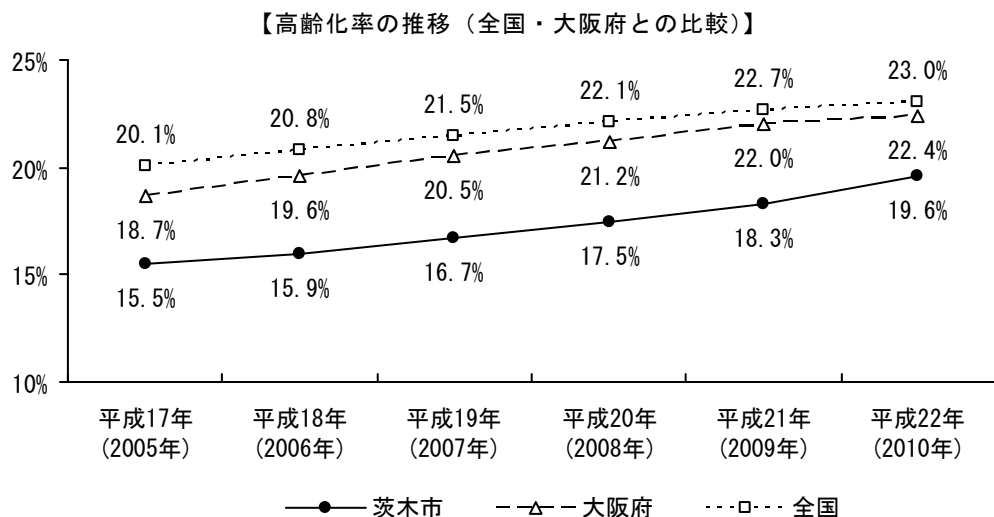
項目	平成19年 (2007年)	平成20年 (2008年)	平成21年 (2009年)	平成22年 (2010年)	平成23年 (2011年)
人口	270,545人 100.0%	271,880人 100.0%	272,989人 100.0%	274,194人 100.0%	275,558人 100.0%
65歳以上 (高齢者人口)	45,294人 16.7%	47,562人 17.5%	49,874人 18.3%	51,403人 18.7%	52,630人 19.1%
15～64歳 (生産年齢人口)	184,399人 68.2%	183,070人 67.3%	181,690人 66.6%	181,001人 66.0%	180,965人 65.7%
0～14歳 (年少人口)	40,852人 15.1%	41,248人 15.2%	41,425人 15.2%	41,790人 15.2%	41,963人 15.2%

資料：住民基本台帳及び外国人登録（各年9月30日現在）

※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。四捨五入の結果、内訳の計が合計に一致しない場合があります。

②高齢化率の推移

高齢化率の推移を全国・大阪府と比較してみると、本市は国・府の数値を下回っているものの、割合は年々上昇しており、平成17年（2005年）と平成22年（2010年）を比較すると、4.1ポイントの上昇となっています。



資料：平成17・22年：国勢調査（10月1日現在）※年齢不詳を除いて算出
平成18～21年：住民基本台帳及び外国人登録（各年9月30日現在）
全国、大阪府は総務省統計局人口推計

③40歳以上人口の推移

40歳以上の人口は年々増加しており、平成23年（2011年）における40歳以上の占める割合は52.7%です。

40歳以上の内訳をみると、平成23年（2011年）では40～64歳が33.6%、65～74歳が11.1%、75歳以上が8.0%となっています。平成19年（2007年）と比較すると、75歳以上の伸び率が最も高く1.2倍となっています。

【40歳以上の人口構成の推移】

項目	平成19年 (2007年)	平成20年 (2008年)	平成21年 (2009年)	平成22年 (2010年)	平成23年 (2011年)
人 口	270,545人	271,880人	272,989人	274,194人	275,558人
40歳未満人口	135,889人	134,751人	133,324人	131,790人	130,236人
40歳以上人口	134,656人	137,129人	139,665人	142,404人	145,322人
40～64歳	89,362人	89,567人	89,791人	91,001人	92,692人
65～74歳	27,739人	28,955人	30,244人	30,666人	30,584人
75歳以上	17,555人	18,607人	19,630人	20,737人	22,046人

資料：住民基本台帳及び外国人登録（各年9月30日現在）

④日常生活圏域別の高齢化の状況

日常生活圏域別の高齢化率をみると、北部地域圏域が34.1%と最も高く、市全体平均を15.0ポイント上回ります。

また、高齢化率が最も低かった圏域は、南部地域圏域の16.9%であり、北部地域圏域と比較すると、17.2ポイントの差があります。

【日常生活圏域別の人口及び高齢化率】

項目		0～14歳	15～64歳	65歳以上	合計	
総数	人口	41,963人	180,965人	52,630人	275,558人	
	構成比	15.2%	65.7%	19.1%	100.0%	
日常生活圏域	北部地域圏域 忍頂寺小学校、清溪小学校	人口	177人	1,598人	920人	2,695人
		構成比	6.6%	59.3%	34.1%	100.0%
	丘陵地域東部圏域 安威小学校、福井小学校、 山手台小学校、耳原小学校	人口	3,687人	16,266人	5,877人	25,830人
		構成比	14.3%	63.0%	22.8%	100.0%
	丘陵地域西部圏域 豊川小学校、郡山小学校、 彩都西小学校	人口	3,446人	10,135人	2,979人	16,560人
		構成比	20.8%	61.2%	18.0%	100.0%
	中心地域東部圏域 三島小学校、東小学校、 太田小学校、庄栄小学校、 白川小学校、西河原小学校	人口	8,049人	35,114人	11,062人	54,225人
		構成比	14.8%	64.8%	20.4%	100.0%
	中心地域西部圏域 春日小学校、春日丘小学校、郡 小学校、沢池小学校、畑田小学 校、穂積小学校、西小学校	人口	8,869人	38,306人	10,896人	58,071人
		構成比	15.3%	66.0%	18.8%	100.0%
	中心地域中部圏域 茨木小学校、中条小学校、 大池小学校、中津小学校	人口	7,553人	36,041人	9,950人	53,544人
		構成比	14.1%	67.3%	18.6%	100.0%
	南部地域圏域 玉櫛小学校、玉島小学校、 水尾小学校、天王小学校、 葦原小学校、東奈良小学校	人口	10,182人	43,505人	10,946人	64,633人
		構成比	15.8%	67.3%	16.9%	100.0%

資料：住民基本台帳及び外国人登録（平成23年9月30日現在）

※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。四捨五入の結果、内訳の計が合計に一致しない場合があります。

⑤小学校区別の高齢化の状況

小学校区別の高齢化率をみると、忍頂寺小学校区が34.7%、清溪小学校区が33.5%、郡山小学校区が33.4%で、3人に1人が高齢者となっています。安威・福井・山手台・豊川・三島・白川・西河原・西・茨木・大池・東奈良小学校区では20%を超えています。また、高齢化率が最も低い小学校区は彩都西小学校区の6.1%で、忍頂寺小学校区と比較すると、28.6ポイントの差があります。

【小学校区別の人口及び高齢化率】

圏域・校区	0～14歳	15～64歳	65歳以上	合計	圏域・校区	0～14歳	15～64歳	65歳以上	合計			
北部地域圏域	忍頂寺	109人 7.6%	832人 57.8%	499人 34.7%	1,440人 100.0%	春日	2,188人 17.8%	8,041人 65.4%	2,062人 16.8%	12,291人 100.0%		
	清溪	68人 5.4%	766人 61.0%	421人 33.5%	1,255人 100.0%		春日丘	1,325人 15.5%	5,671人 66.3%	1,556人 18.2%	8,552人 100.0%	
丘陵地域東部圏域	安威	616人 14.8%	2,578人 62.0%	965人 23.2%	4,159人 100.0%	中心地域西部圏域	郡	1,061人 16.5%	4,160人 64.8%	1,197人 18.7%	6,418人 100.0%	
	福井	691人 13.3%	3,162人 60.8%	1,347人 25.9%	5,200人 100.0%		沢池	1,703人 14.9%	7,714人 67.6%	1,991人 17.5%	11,408人 100.0%	
	山手台	886人 12.1%	4,560人 62.2%	1,889人 25.8%	7,335人 100.0%		畑田	754人 14.6%	3,532人 68.2%	893人 17.2%	5,179人 100.0%	
	耳原	1,494人 16.4%	5,966人 65.3%	1,676人 18.3%	9,136人 100.0%		穂積	1,100人 12.8%	5,759人 67.1%	1,719人 20.0%	8,578人 100.0%	
丘陵地域西部圏域	豊川	528人 10.9%	3,230人 66.5%	1,100人 22.6%	4,858人 100.0%	西	738人 13.1%	3,429人 60.7%	1,478人 26.2%	5,645人 100.0%		
	郡山	480人 11.3%	2,353人 55.3%	1,421人 33.4%	4,254人 100.0%		中心地域中部圏域	茨木	1,741人 12.8%	9,062人 66.8%	2,765人 20.4%	13,568人 100.0%
	彩都西	2,438人 32.7%	4,552人 61.1%	458人 6.1%	7,448人 100.0%			中条	2,299人 17.0%	9,220人 68.3%	1,979人 14.7%	13,498人 100.0%
中心地域東部圏域	三島	1,432人 14.5%	6,293人 63.7%	2,160人 21.9%	9,885人 100.0%	大池		1,981人 13.1%	9,946人 65.9%	3,156人 20.9%	15,083人 100.0%	
	東	1,658人 16.6%	6,443人 64.6%	1,866人 18.7%	9,967人 100.0%	中津	1,532人 13.4%	7,813人 68.6%	2,050人 18.0%	11,395人 100.0%		
	太田	2,167人 18.5%	7,383人 63.2%	2,135人 18.3%	11,685人 100.0%	南部地域圏域	玉櫛	1,575人 15.7%	6,600人 65.6%	1,883人 18.7%	10,058人 100.0%	
	庄栄	952人 12.0%	5,429人 68.3%	1,563人 19.7%	7,944人 100.0%		玉島	1,802人 18.9%	6,441人 67.5%	1,301人 13.6%	9,544人 100.0%	
	白川	1,249人 12.9%	6,328人 65.5%	2,089人 21.6%	9,666人 100.0%		水尾	1,616人 14.8%	7,111人 65.2%	2,178人 20.0%	10,905人 100.0%	
	西河原	591人 11.6%	3,238人 63.8%	1,249人 24.6%	5,078人 100.0%		天王	2,177人 15.0%	10,178人 70.3%	2,118人 14.6%	14,473人 100.0%	
総数	41,963人 15.2%	180,965人 65.7%	52,630人 19.1%	275,558人 100.0%	葦原		1,769人 17.7%	6,881人 68.9%	1,339人 13.4%	9,989人 100.0%		
					東奈良		1,243人 12.9%	6,294人 65.1%	2,127人 22.0%	9,664人 100.0%		

資料：住民基本台帳及び外国人登録（平成23年9月30日現在）

※上段は人数（人）、下段は構成比（%）

※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。四捨五入の結果、内訳の計が合計に一致しない場合があります。

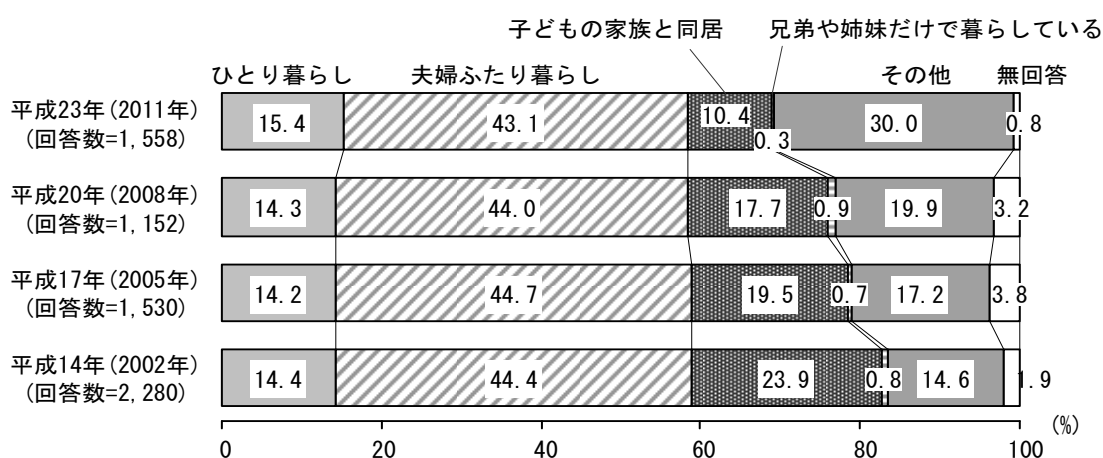
2 高齢者の現況

(1) 世帯の状況

高齢者調査の結果をみると、「ひとり暮らし」は15.4%となっています。「夫婦ふたり暮らし」が43.1%で最も多く、「子どもの家族と同居」は10.4%で減少傾向がみられます。

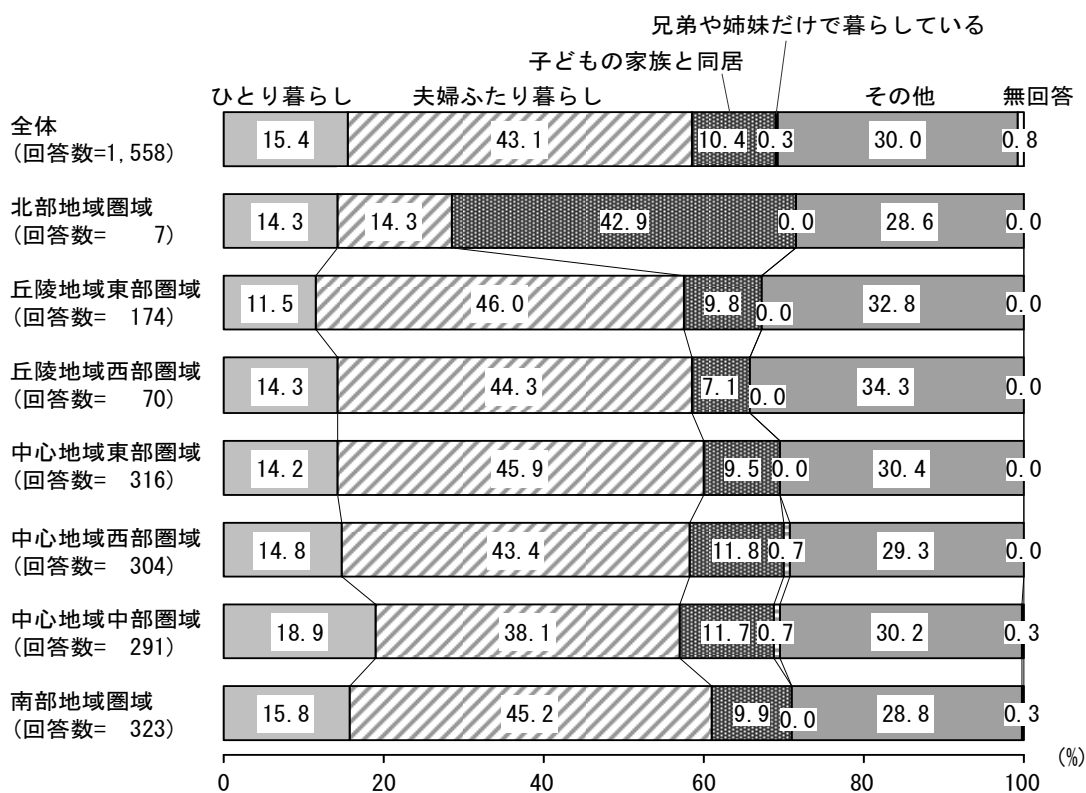
日常生活圏域別でみると、「ひとり暮らし」は中心地域中部圏域が18.9%で最も高く、「夫婦ふたり暮らし」は丘陵地域東部圏域（46.0%）、中心地域東部圏域（45.9%）、南部地域圏域（45.2%）などで高くなっています。

【世帯状況】



※平成23年とそれ以前の調査では、「その他」の集計の条件が異なります。

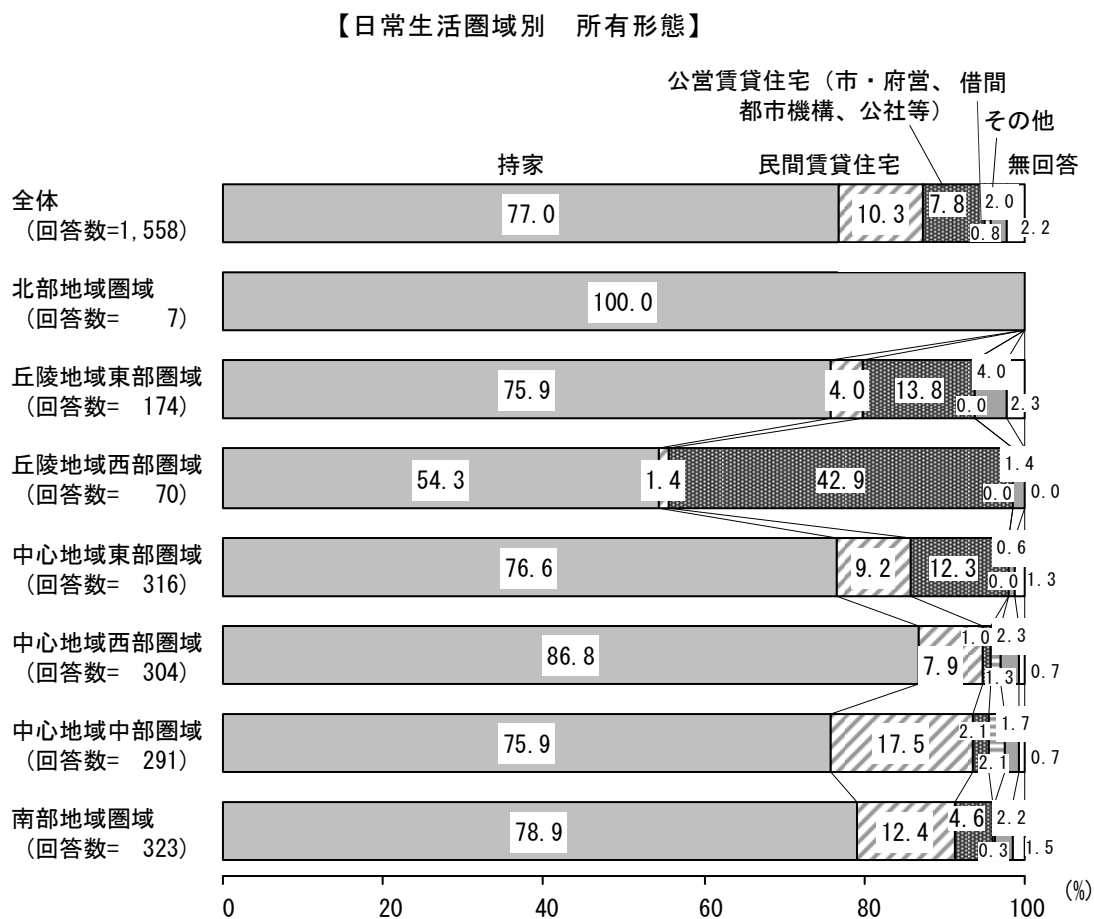
【日常生活圏域別 世帯状況】



(2) 住まいの状況

高齢者調査の結果をみると、住居の所有形態については、「持家」の割合が77.0%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅」の割合が10.3%、「公営賃貸住宅（市・府営、都市機構、公社等）」の割合が7.8%となっています。

日常生活圏域別でみると、丘陵地域西部圏域では「持家」が54.3%と最も低く、「公営賃貸住宅（市・府営、都市機構、公社等）」が42.9%で最も高くなっています。



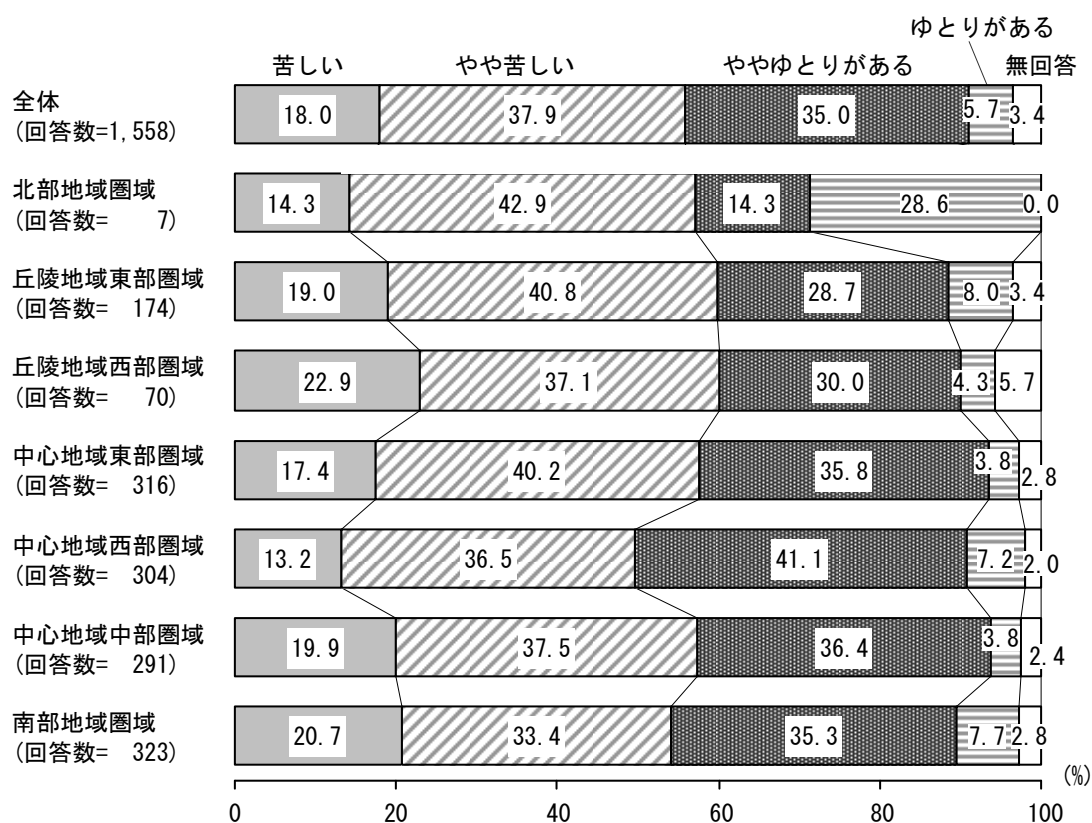
(3) 暮らしの状況

総合的にみた現在の暮らしの状況については、「やや苦しい」が37.9%で最も多く、「苦しい」と合わせて『苦しい』は55.9%となっています。一方、『ゆとりがある』（「ややゆとりがある」と「ゆとりがある」を合わせた割合）は40.7%で、『苦しい』の割合のほうが高くなっています。

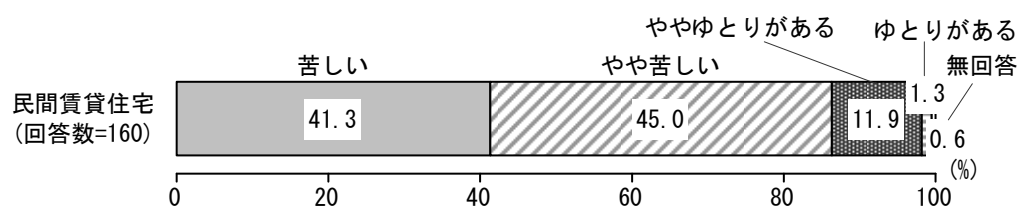
日常生活圏域別でみると、『苦しい』は丘陵地域西部圏域（60.0%）で最も高く、次いで丘陵地域東部圏域（59.8%）となっています。一方、『ゆとりがある』は中心地域西部圏域（48.3%）が最も高くなっています。

民間賃貸住宅に住んでいる人のみでみると、『苦しい』が86.3%に対し、『ゆとりがある』は13.2%となっています。

【日常生活圏域別 総合的にみた現在の暮らしの状況】



【総合的にみた現在の暮らしの状況（民間賃貸住宅に住んでいる人のみ）】



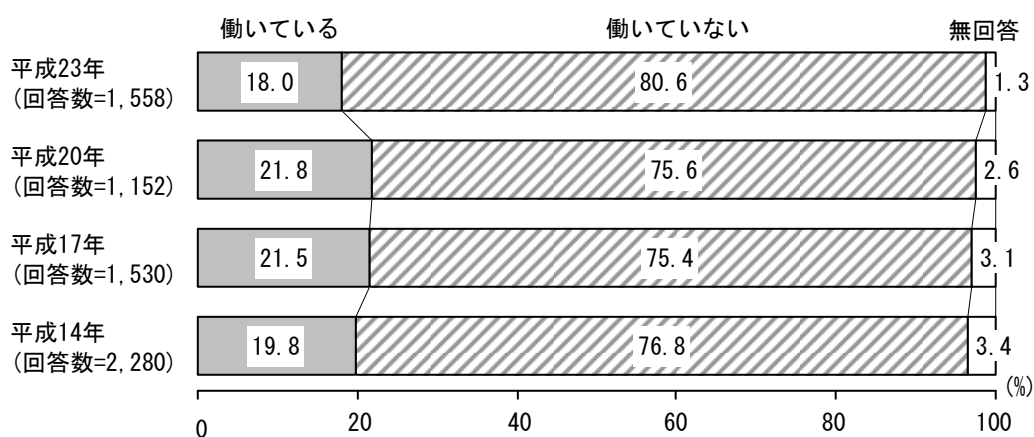
(4) 就労の状況

高齢者調査の結果をみると、就労については、「働いていない」の割合が80.6%で、「働いている」の割合は18.0%となっています。

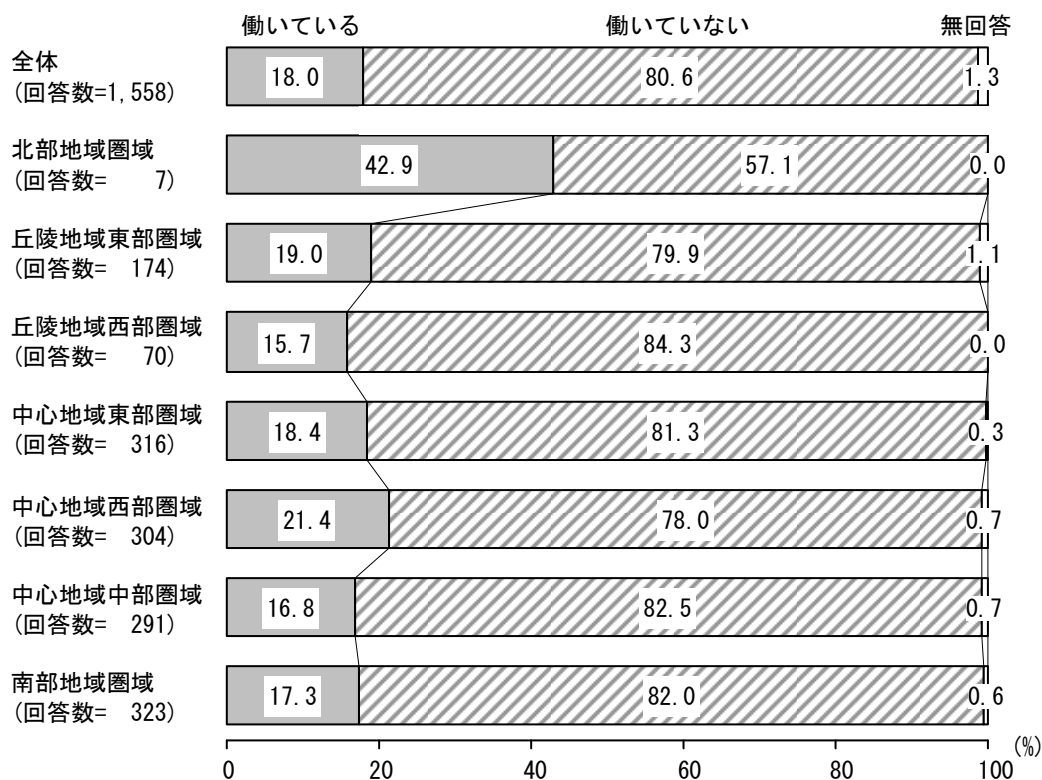
過去の調査と比較してみると、「働いている」の割合は最も低くなっています。

北部地域圏域を除く日常生活圏域別でみると、中心地域西部圏域では「働いている」が21.4%と高くなっています。

【就労状況】

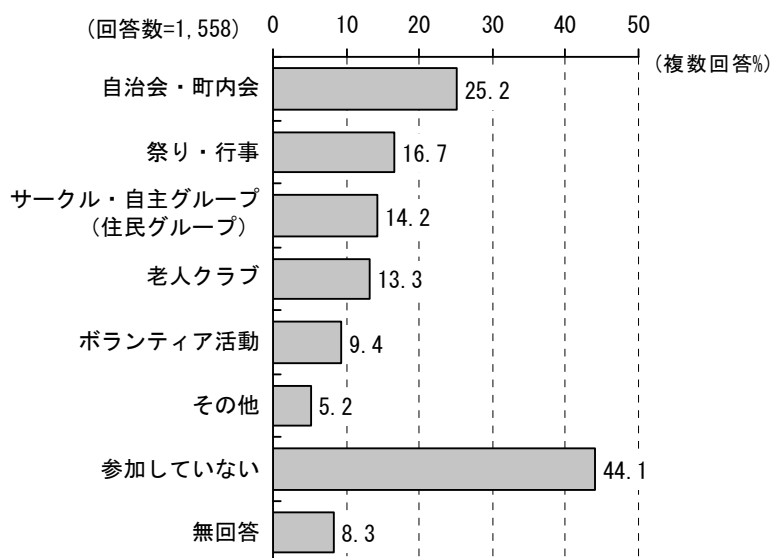


【日常生活圏域別 就労状況】



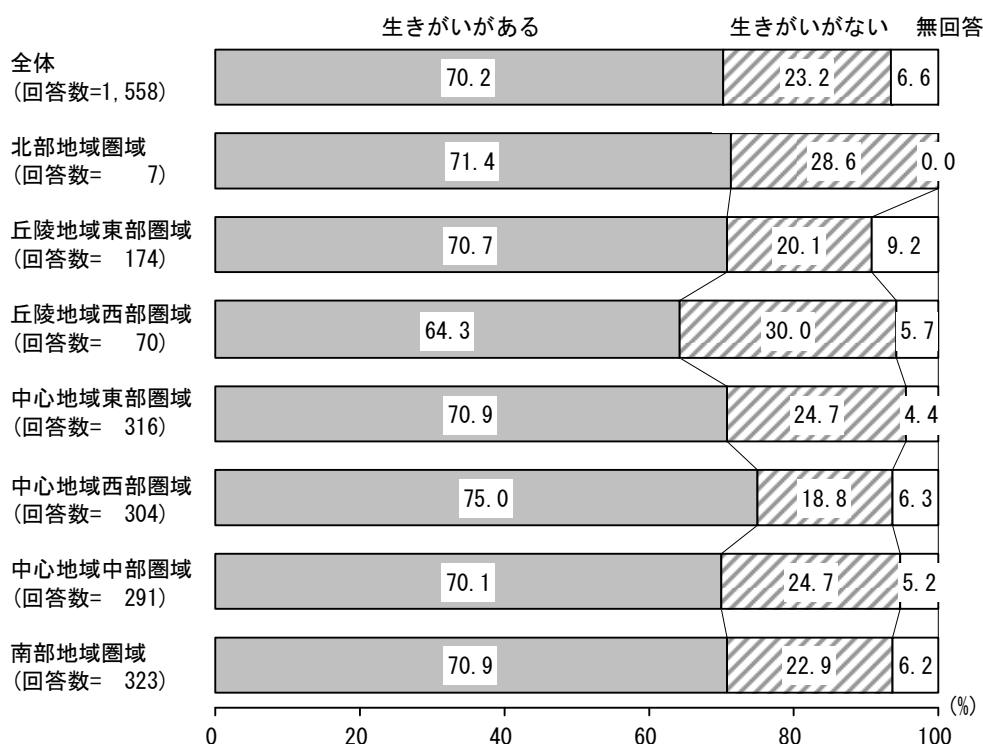
(5) 地域活動の状況

地域活動に参加する高齢者は 47.6%で、参加している活動は、「自治会・町内会」(25.2%)、「祭り・行事」(16.7%)、「サークル・自主グループ(住民グループ)」(14.2%) などが多くなっています。これに対し、地域活動に参加していない高齢者は 44.1%となっています。



(6) 生きがいの有無

「生きがいがある」高齢者が 70.2%であるのに対し、「生きがいがない」高齢者は 23.2%となっています。日常生活圏域別でみると、いずれの圏域も「生きがいがある」が過半数を占めていますが、「生きがいがない」は、丘陵地域西部圏域が 30.0%と高くなっています。



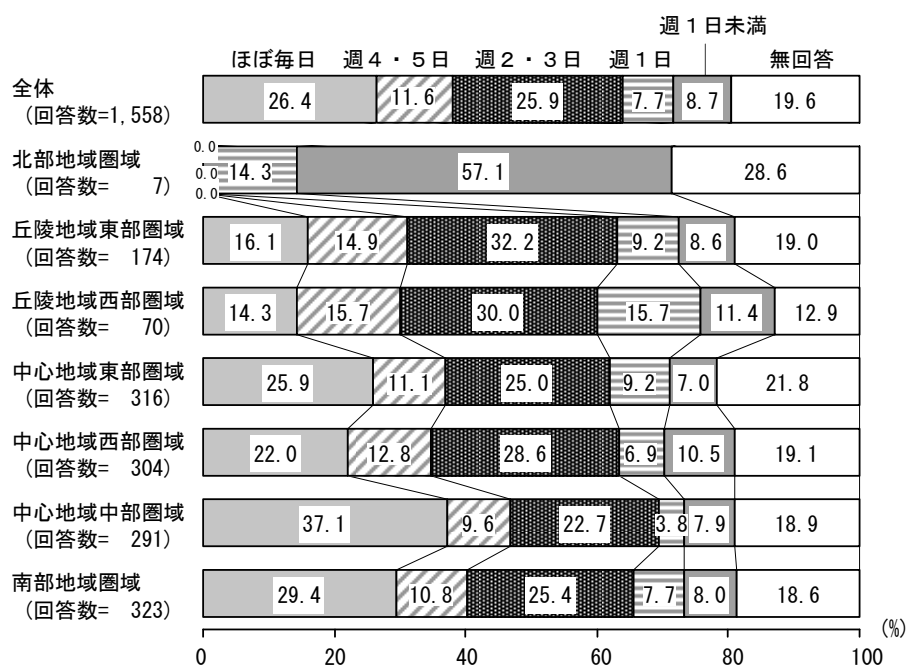
(7) 外出の状況

買物については、「ほぼ毎日」が26.4%で最も多く、週の半分以上、買物目的で外出する高齢者は38.0%となっています。日常生活圏域別でみると、「ほぼ毎日」の割合は、中心地域中部圏域(37.1%)が最も高く、次いで南部地域圏域(29.4%)、中心地域東部圏域(25.9%)となっています。

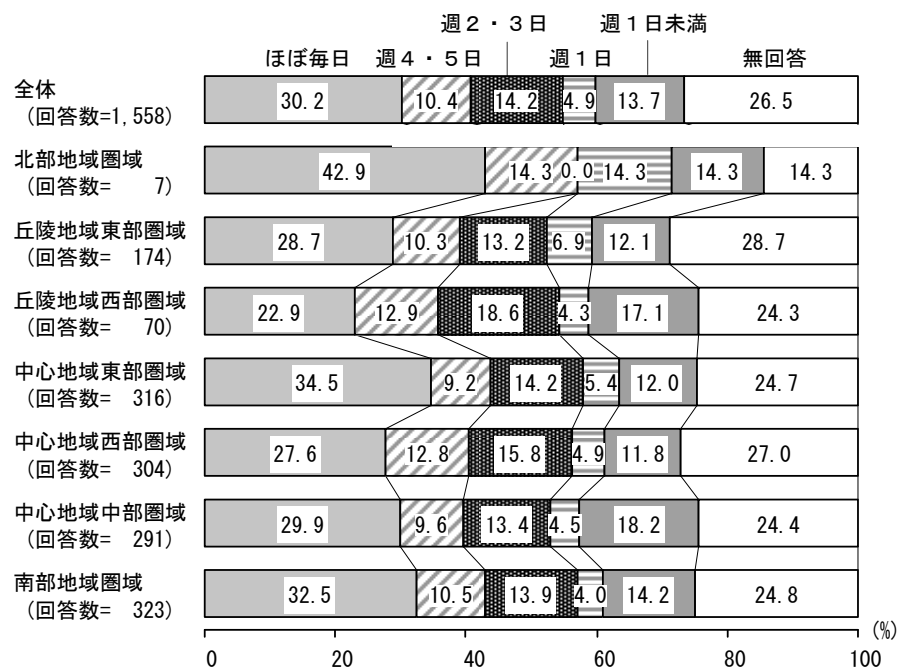
散歩についても「ほぼ毎日」が30.2%で最も多く、散歩目的で週の半分以上外出している高齢者は40.6%となっています。日常生活圏域別でみると、「ほぼ毎日」の割合は、いずれの圏域も最も高くなっていますが、7圏域の中では、丘陵地域西部圏域(22.9%)が最も低くなっています。

【日常生活圏域別 買物や散歩で外出する頻度】

1. 買物



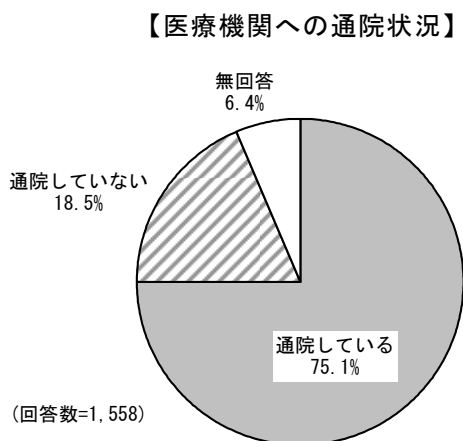
2. 散歩



(8) 疾病の状況

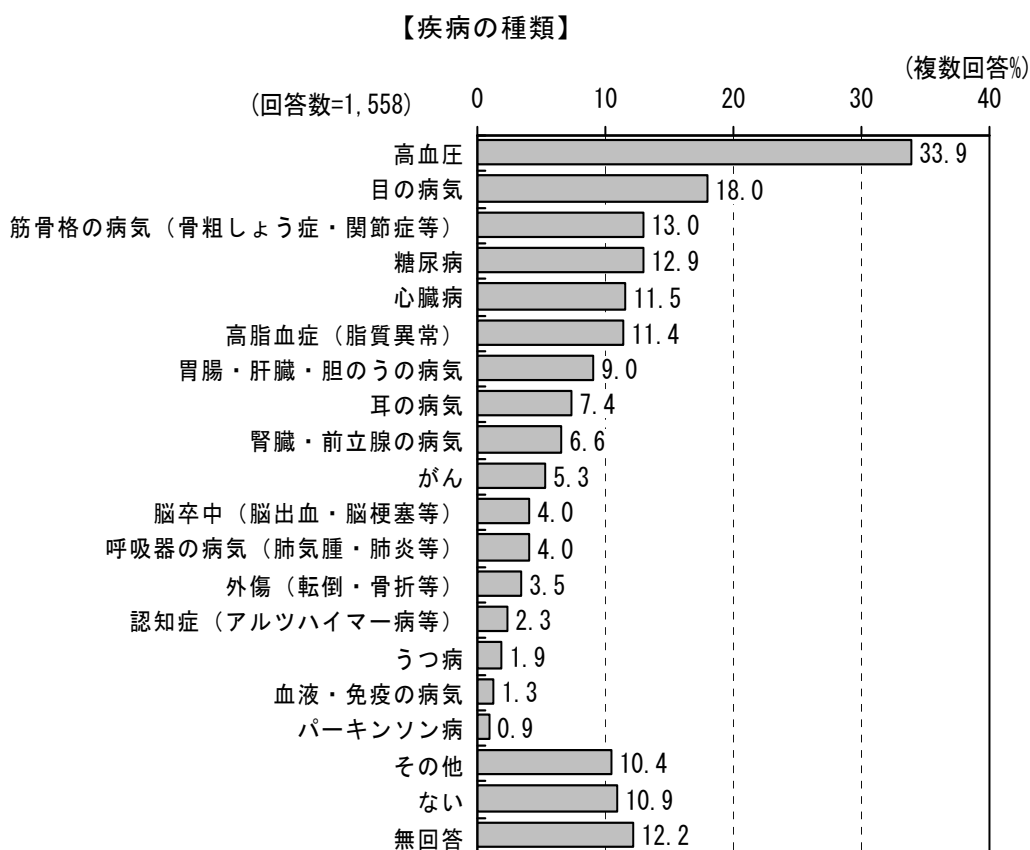
①通院状況

高齢者調査の結果をみると、医療機関に通院している高齢者は75.1%となっています。



②疾病の種類

高齢者調査の結果をみると、現在、治療中又は後遺症のある高齢者の病気の種類は、「高血圧」の割合が33.9%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が18.0%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）」の割合が13.0%となっています。



3 介護保険被保険者の状況

(1) 要支援・要介護認定者の推移

要支援・要介護認定者は年々増加しており、平成22年度（2010年度）は、8,269人で、平成20年度（2008年度）に比べ、1.06倍の伸びとなっています。

【要支援・要介護認定者の推移】

項目	平成20年度 (2008年度)	平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)
高齢者人口	48,852人	50,735人	51,896人
要支援1	1,365人	1,397人	1,409人
要支援2	827人	989人	1,096人
小計	2,192人	2,386人	2,505人
認定率	4.5%	4.7%	4.8%
要介護1	1,607人	1,672人	1,760人
要介護2	1,158人	1,159人	1,216人
要介護3	1,078人	1,058人	993人
要介護4	968人	943人	945人
要介護5	814人	859人	850人
小計	5,625人	5,691人	5,764人
認定率	11.5%	11.2%	11.1%
合計	7,817人	8,077人	8,269人
認定率	16.0%	15.9%	15.9%

(2) 居宅における要支援・要介護者の状況

① 居宅サービス及び地域密着型サービス利用者

平成22年度（2010年度）の1か月当たりの居宅サービスの利用者は、5,020人で、特に、要介護1の利用者が多くなっています。

【居宅・地域密着型サービス利用者（要介護度別、1か月当たりの平均）】

項目	合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
居宅サービス利用者	5,020人	801人 16.0%	727人 14.5%	1,241人 24.7%	887人 17.7%	632人 12.6%	437人 8.7%	295人 5.9%
地域密着型サービス利用者	196人	2人 1.0%	1人 0.5%	41人 20.9%	48人 24.5%	58人 29.6%	33人 16.8%	13人 6.6%

居宅サービス：介護保険で受けられるサービスのうち、在宅に関するもの。訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所介護、短期入所生活介護など。

地域密着型サービス：高齢者が中重度の要介護状態になっても、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続できるようにするためのサービス。小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護など。

② 認知症の状況

介護保険サービス利用意向調査の結果から認知症の状況をみると、要介護度が重度化するにつれて、介護を必要とする人の割合が高くなっています。

要介護度	対象者	認知症の症状の程度						介護を必要とする人の割合
		症状無	軽度	→	介護要	→	重度	
要支援1	759人	536人 70.6%	181人 23.8%	42人 5.5%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0.0%
要支援2	714人	441人 61.8%	198人 27.7%	64人 9.0%	9人 1.3%	0人 0.0%	2人 0.3%	1.5%
要介護1	1,073人	346人 32.2%	289人 26.9%	356人 33.2%	68人 6.3%	11人 1.0%	3人 0.3%	7.6%
要介護2	728人	229人 31.5%	166人 22.8%	219人 30.1%	93人 12.8%	19人 2.6%	2人 0.3%	15.7%
要介護3	507人	114人 22.5%	113人 22.3%	136人 26.8%	113人 22.3%	24人 4.7%	7人 1.4%	28.4%
要介護4	329人	57人 17.3%	63人 19.1%	86人 26.1%	76人 23.1%	37人 11.2%	10人 3.0%	37.4%
要介護5	221人	29人 13.1%	21人 9.5%	36人 16.3%	52人 23.5%	60人 27.1%	23人 10.4%	61.1%
合計	4,331人	1,752人 40.5%	1,031人 23.8%	939人 21.7%	411人 9.5%	151人 3.5%	47人 1.1%	14.1%

軽度：何らかの認知症の症状を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。

介護要：日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが時々みられ、介護を必要とする。

重度：著しい精神症状や重篤な身体疾患がみられ、専門医療を必要とする。

(3) 施設サービス利用者

平成22年度（2010年度）の1か月当たりの施設サービスの利用者は1,136人で、介護老人福祉施設の利用が最も多く、625人となっています。

また、施設サービス利用者のうち、要介護4・5の人が占める割合（重度化率）は57.4%で、施設の中でも介護療養型医療施設利用者の重度化率は最も高く、93.3%となっています。

【施設サービス利用者（要介護度別、1か月当たりの平均）】

	合計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	重度化率
施設サービス利用者	1,136人	87人 7.7%	127人 11.2%	270人 23.8%	348人 30.6%	304人 26.8%	57.4%
介護老人福祉施設	625人	25人 4.0%	40人 6.4%	146人 23.4%	211人 33.8%	203人 32.5%	66.2%
介護老人保健施設	466人	62人 13.3%	86人 18.5%	122人 26.2%	126人 27.0%	70人 15.0%	42.1%
介護療養型医療施設	45人	0人 0.0%	1人 2.2%	2人 4.4%	11人 24.4%	31人 68.9%	93.3%

介護老人福祉施設：身体上又は精神上著しい障害があるため常時介護が必要で、在宅生活が困難な要介護者に、入浴、排せつ、食事等の介護、その他の日常生活上の世話や機能訓練、健康管理、療養上の世話をする施設

介護老人保健施設：病状が安定期にある要介護者に、看護や医学的管理下における介護、機能訓練その他必要な医療、日常生活上の世話をし、在宅生活への復帰を目指す施設

介護療養型医療施設：病状が安定している長期療養患者で、医学的な管理が必要な要介護者に、療養上の管理、看護、医学的管理下における介護、機能訓練その他必要な医療を行う施設

4 計画年度における推計値

(1) 高齢者人口の推計

平成26年(2014年)までの人口を、平成22年(2010年)から平成23年(2011年)までの住民基本台帳及び外国人登録(各年4月1日)の実績を用いて、コーホート要因法により推計しています。

平成24年(2012年)の人口を275,669人、高齢者人口を54,047人と推計しており、高齢化率は、平成26年(2014年)には、21.5%に達するものと予測しています。(各年4月1日)

本市の高齢化率は、全国と比較すると低くなっていますが、年々上昇傾向にあります。

【人口構成の推計(平成21年から平成23年までは実績)】

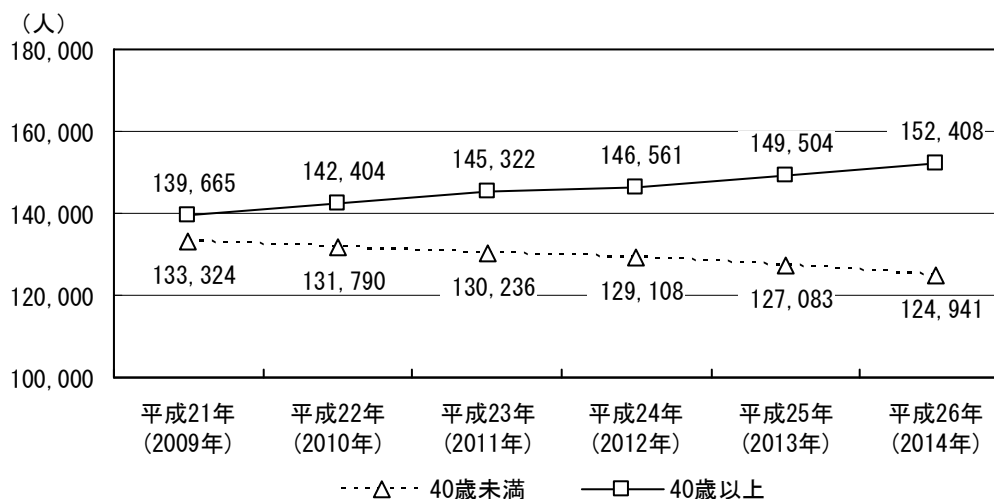
	平成21年 (2009年)	平成22年 (2010年)	平成23年 (2011年)	平成24年 (2012年)	平成25年 (2013年)	平成26年 (2014年)
人口	272,989人	274,194人	275,558人	275,669人	276,587人	277,349人
40歳未満	133,324人 48.8%	131,790人 48.1%	130,236人 47.3%	129,108人 46.8%	127,083人 45.9%	124,941人 45.0%
40歳以上人口	139,665人 51.2%	142,404人 51.9%	145,322人 52.7%	146,561人 53.2%	149,504人 54.1%	152,408人 55.0%
40～64歳	89,791人 32.9%	91,001人 33.2%	92,692人 33.6%	92,514人 33.6%	92,522人 33.5%	92,746人 33.4%
65～74歳	30,244人 11.1%	30,666人 11.2%	30,584人 11.1%	31,296人 11.4%	32,963人 11.9%	34,689人 12.5%
75歳以上	19,630人 7.2%	20,737人 7.6%	22,046人 8.0%	22,751人 8.3%	24,019人 8.7%	24,973人 9.0%

※コーホート要因法とは、各コーホート(出生年が同じ人口集団)について、「自然増減」(出生と死亡)及び「純移動」(転出入)という二つの人口変動要因それぞれについて将来値を仮定し、それに基づいて将来人口を推計する方法です。

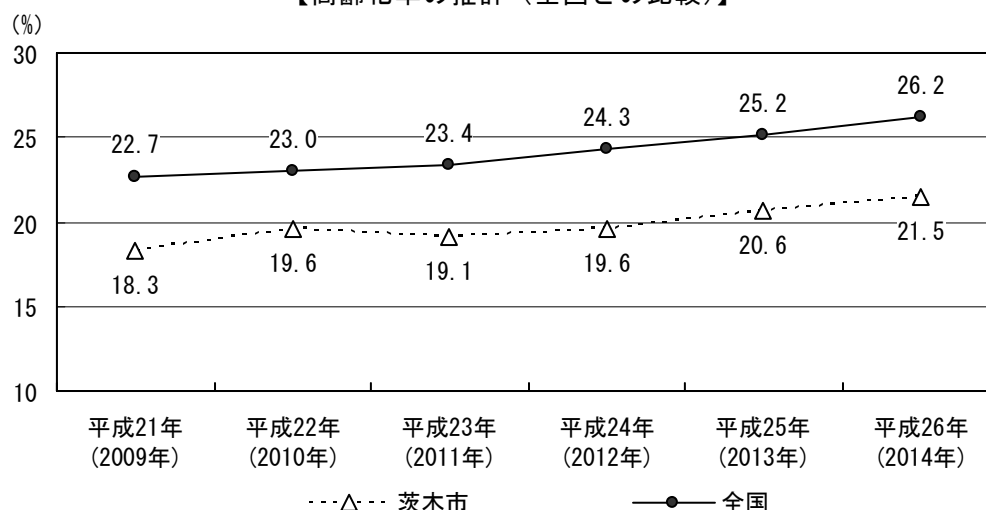
※小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

※実績は、住民基本台帳及び外国人登録(各年9月30日現在)

【40歳未満、40歳以上人口の推計】



【高齢化率の推計（全国との比較）】



資料：平成21年：住民基本台帳及び外国人登録（9月30日現在）、全国は総務省統計局人口推計（10月1日現在）

平成22年：国勢調査（10月1日現在）※年齢不詳を除いて算出

平成23年：住民基本台帳及び外国人登録（9月30日現在）、全国は総務省統計局人口推計（10月1日現在 ※概算値）

平成24～26年：住民基本台帳及び外国人登録（各年度4月1日）の実績を用いたコーホート要因法による推計。全国は人口問題研究所資料から引用

（２）要支援・要介護認定者の推計

平成26年度（2014年度）までの要支援・要介護認定者を、人口推計の結果及び過去の要支援・要介護認定率の実績を勘案し、推計しています。

要支援・要介護認定者は、平成24年度（2012年度）を8,899人と推計し、高齢者の増加とともに年々増えると予想しています。

【要支援・要介護認定者の推計】

	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)
要支援 1	1,404	1,428	1,442
要支援 2	1,409	1,582	1,768
要介護 1	1,858	1,921	1,967
要介護 2	1,391	1,454	1,495
要介護 3	999	1,014	1,026
要介護 4	959	974	987
要介護 5	879	926	996
合計	8,899	9,299	9,681
うち 1号被保険者 (対65歳以上人口比)	8,590 (15.9%)	8,990 (15.8%)	9,371 (15.7%)
うち 2号被保険者	309	309	310